

平成29年11月14日 定例教育委員会 会議録

1 開催日時及び場所

・平成29年11月14日（火） 14時10分 ～ 15時40分

・教育委員会室

2 出席者

教育長	松川 禮子	事務局職員	
委員	野原 正美	副教育長	石原 佳洋
委員	森口 祐子	教育次長	内木 禎
委員	竹中 裕紀	総合教育センター長兼教育研修課長	坂井 和裕
委員	近藤 恵里	教育総務課長	平野 孝之
(稲本正委員は欠席)		教育総務課教育主管	堀 貴雄
		教育財務課長	林 裕久
		教職員課長	石田 達也
		教職員課福利厚生室長	若野 明
		教職員課教育主管	服部 照
		学校安全課長	三輪 康典
		学校支援課長	北岡 龍也
		学校支援課教育主管	渡邊 勝敏
		学校支援課教育主管	園部 栄子
		特別支援教育課長	林 雅浩
		体育健康課長	野田 正明

3 議事日程等

報第1号、議第1号、議第2号及び事務局報告（政策）（2）について非公開とすることを決定。

4 会議録

平成29年10月25日開催の定例教育委員会の会議録を承認。

5 審議の概要

別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容	( ) 書きは事務局発言
<b>報第1号 職員の表彰について（非公開案件）</b>		
<p>職員の表彰について専決で行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>		
<b>議第1号 教育に関する事務に係る予算に対する意見について（非公開案件）</b>		
教育総務課 課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、岐阜県知事から平成29年第5回定例県議会に提出される教育に関する事務に係る予算について意見を求められたため、異議ない旨を回答することについてお諮りする。</p> <p>教育委員会の12月補正予算の概要は、平成29年度12月補正予算の概要に記載のとおりである。歳出の職員給与費（部活動手当等）の増は、平成30年1月からの部活動手当等に係る国庫負担基準の引き上げに合わせ、県の手当支給額の増額改定を行うため、2000万円の増額補正をするものである。繰越明許費の学校建設事業は、県立学校4校の外壁改修工事等において、アスベストの有無の調査を緊急に実施するため、年度内に工事の完了が困難となり繰越をするものである。債務負担行為の特別支援学校スクールバス運行委託は、特別支援学校12校のスクールバスの運行委託について、31年度末までの契約を行うため、債務負担行為を設定するものである。次の県立学校等緊急連絡メール配信システムソフトウェア借上げは、非常時に県立学校から保護者へ一斉連絡を行うためのメール配信システムについて、32年度末までの契約を行うため、債務負担行為を設定するものである。知事への回答案として、予算編成にあたりあらかじめ十分に相互調整のうえ、編成された予算の内容となっており、異議のない旨を回答したいと考えている。</p>	
竹中委員	<p>債務負担行為は、予め予算段階で分かっている気がするが、なぜ補正で対応しなければならなかったのか。</p>	
学校安全課 課長	<p>県立学校等緊急連絡メール配信システムソフトウェアの借上げは、来年度から4年間の契約をしたいと考えている。緊急連絡メールについては、4月1日から何が起きるか分からないということもあって、年度当初から稼働させる必要があり、1月から3月の間で契約を進めなければならないため、12月の補正で対応をお願いします。</p>	
教育長	<p>議第1号について、挙手により採決する。</p>	
教育長	<p>全員賛成により原案のとおり可決する。</p>	
<b>議第2号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）</b>		
<p>教職員の懲戒処分について諮り、可決された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>		
<b>事務局報告（政策）</b>		
<b>（2）いじめに関する重大事態の報告について（非公開案件）</b>		

いじめに関する重大事態の報告について報告した。  
本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。

**報第2号 教育委員会事務局職員の人事異動について**

教育総務課長

郡上特別支援学校男性講師自死事案について、自死した男性講師の勤務状況や人間関係、自死後の県教育委員会の対応を中心に調査を進めてきた。今般、弁護士による調査を実施し、その調査を支援する人員を増員する人事異動を専決により行ったので報告し、承認を求めるものである。

次長級として、教育次長に内木禎総務部次長を充てる。また、課長級として、布施明彦教育総務課長を知事の部局へ出向とし、教育総務課長に私、環境生活部県民文化局文化創造課長であった平野孝之を充てる。以上が管理職であるが、実務を担当する職員を4名増員する。いずれも課長補佐級で、教育委員会事務局の併任となる。

竹中委員

組織を強化するとのことだが、その目的はなにか。

教育総務課長

今回の異動の趣旨は、より客観的で公正な調査に向け11月より弁護士による調査も開始し、この調査が円滑に進むように体制を強化し、進めていくための異動である。

竹中委員

かなりの強化であり大規模な異動となっている。既に調査はかなり進んでおり、そろそろ終わると思っていたが、まだこれからやる事が多いという認識で良いか。

教育総務課長

これまでも教育委員会において調査をしてきたが、より客観的で公正な視点から専門家である弁護士にも調査してもらうことになった。できるだけスピード感をもって進めていきたい。

教育長

報第2号について、挙手により採決する。

教育長

全員賛成により承認する。

**事務局報告（政策）**

**（1）平成28年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について**

学校安全課長

平成28年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果についてご報告する。

この調査は、文部科学省が28年度の状況を29年度の上半期中に調査した結果が、10月26日に公表されたものである。この調査では、主に、「暴力行為件数」「いじめ認知件数」「不登校児童生徒数」の3つについて、都道府県ごとに取りまとめ、千人当たりの件数と、全国順位を明らかにするとともに、要因等を分析し、今後の未然防止等に資することを目的としている。今後は、概ね12月中を目途に、文部科学省より分析及び対策に関する通知が発出される見込みであるため、速やかに県立学校、市町村教育委員会等に周知をしていく。今回の件数、順位等については、この表のとおり結果である。次に、それぞれの概略について、ご説明する。はじめに「暴力行為件数」であるが、国公立の小・中・高における暴力行為発生件数は、1,644件。千人当たりの発生件数は、7.2件で、前年度の6.8件より増加した。増加した小学校においては、暴力行為の発生件数912件に対し、加害児童の実人数が802人となっており、同一児童による繰返し事案が増加している。次に「いじめ認知件数」であるが、件数は、3,442件。千人当たりの認知件数は、14.9件で、前年度の15.4件より減少した。増加した小学校においては、担任の発見や保護者からの訴えが約140件増加した。一

	<p>方、中学校では認知件数が減少しており、より積極的な認知が課題と考えている。最後に「不登校児童生徒数」であるが、小・中学校の不登校児童生徒数は、2,425人。千人当たりの不登校数は、14.3人で、前年度の13.7人より増加した。無気力や不安傾向の増加、また、不登校状況の長期化が見られ、具体的には、前年度から不登校の児童生徒が50人増加している。高等学校の不登校数は639人。千人当たりの不登校数は、11.3人で、前年度の10.8人より増加した。「不安」、「学校における人間関係」が増加している。以上は、国公立の数値である。公立学校のみデータは、38項以降に掲載している。なお、今回、参考として、全国と岐阜県の公立学校の傾向を比較した。分析欄に記載のとおり、今回の調査結果は、概ね、全国と同じ傾向を示している。ただ、1点、今回の特徴として、いじめ認知件数に注目している。特に小・中学校において、全国の認知件数が大幅に増加しており、小学校では、56.8%、中学校では19.8%の増となっている。この影響で、本県の全国順位は、19位から32位と大きく下がった。本県は、平成18年に発生した瑞浪市における中学生の自死事案発生以来、積極的にいじめの認知に取り組んできており、従来、認知件数の全国順位は、高い位置にいた。平成18年度から23年度までは1位から3位で推移し、平成24年度に13位となって以降、順位、順位が下がっている。今回の調査の背景として、文部科学省では、全国の特に関心件数の少ない都道府県に対し、いじめの積極的な認知を指導された、と伺っている。データの上でも、全都道府県の約9割が大幅な件数の伸びを示しており、その中の例を挙げると、長野県は前年度1,567件から4,214件となり、168.9%の増で、前年度40位から25位に、沖縄県は、前年度2,335件から12,482件となり、434.5%の増で前年度27位から4位にそれぞれ順位が上がっている。岐阜県の順位の下落は、これらの影響もあったものと考えているが、引き続き、積極的な認知につき、周知徹底していく。この結果を受け、今後は、「暴力行為等防止支援員の派遣」「小学校低学年からのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用」「不登校を未然防止のため、学識経験者等のアドバイザーの派遣」などに、来年度予算の拡充要求も含め、取り組んでいく考えである。なお、別冊の別添資料が、より詳細な係数資料となっている。</p>
<p>竹中委員</p>	<p>教育委員になり日は浅いが、いじめに対する対応についてはフローにより大変敏感に早く行われるようになっており、このことが成果に繋がっているのではないかと感じる。しかし、いじめの中でも重大事案以外のところは弱いと感じるため、引き続き進めてほしい。また、不登校の有無に拘らず、対策の中で魅力ある学校方針や生徒が意欲を高められるような活動も非常に重要であるため、小学生のうちから徹底して行うと良いと考える。対策については、3つの記載があるが旬な話で良いと思うため、中身を実現してほしい。</p>
<p>学校安全課長</p>	<p>いじめが発生した後の対応は当然だが未然防止が重要であると考えている。魅力ある学校づくり事業の中では、自己有用感・自己肯定感を持つことがいじめや暴力行為の防止に繋がるという実証結果が出ている。こうした成果を来年度モデル校やモデル市のみならず全県下に波及するような仕組みで予算を組んでいきたいと考えている。</p>
<p><b>事務局報告（その他）</b></p>	
<p><b>（1）岐阜県における全国レベルの表彰について</b></p>	
<p><b>（2）平成29年度教育委員行事予定について</b></p>	
<p>教育総務課長</p>	<p>岐阜県における全国レベルの表彰の10月分について、文化部門で3件、スポーツ部門で20件を掲載しているので、ご確認頂きたい。また、平成29年度教育委員行事予定について、前回からの変更点は、網かけの箇所である。</p>
<p><b>その他</b></p>	

## ホームページ公開用

野原委員	<p>11月8日に美濃加茂市立西中学校で行われた可茂地区生徒指導連携強化委員会、子どもの居場所と絆づくり県民運動推進会議、社会教育推進会議へ参加した。そこで、いじめに対するモデル校というかたちで美濃加茂市立西中学校の生徒が取り組んでいる活動の発表などがあった。以前的美濃加茂市立西中学校は廊下を自転車で走り回っていたりする元気な学校という認識であったが、校長先生をはじめとする先生方の努力の成果もあり、落ち着いた雰囲気 of 授業を参観した。その後、携帯電話やスマートフォンの使い方をテーマに生徒や地域の先生、学校の生徒指導の先生のグループ協議が行われた。その中で生徒が、大人の質問に対して受け答えをしている姿やスマートフォンに関する話題の中から、使い方については生徒会をあげて事件や事故が起こらないよう対応していた。子どもたちの命を守る取り組みを大人たちがしていかなければならないという話し合いがあり、とても有意義な場であった。今後も継続していくため、他の委員も機会があれば参加すると良いのではないか。</p>
竹中委員	<p>10月27日に揖斐高校へ訪問した。初めて高校へ訪問したが、生徒の将来に向けた専門的な教育がされており、生徒は目的をもって生き生きしていると感じた。特に介護の資格は大変難しい単位であるが、欠席者が1名もおらず真面目で感動した。高校生でもただ受験勉強をするだけでなく将来の目的をもつということを考えると、目的を持たずして入学した子どもが目的を持ち卒業しているというのは大変良いと感じた。</p>
野原委員	<p>訪問では、生徒さんがピンワークという1枚の布からドレスを短時間で作成するのを見学したが、この学校に入学しなければこのような技術は身につかなかったのではないか。生き生きとした子どもたちの目の輝きを現場で見ることができ良い機会であった。</p>
近藤委員	<p>11月2日に多治見北高校を訪問した。多治見北高校にはスクールカウンセラーとして5年ほどいたが、5年間で見ることでできなかった輝いた活躍を報告してもらった。スクールミーティングでは生徒会や各校様々な取り組みをしており、校内だけでなく校外でも活動している子どもたちとディスカッションでき、問題行動調査にあがってくるような子どもだけではなく、学校が楽しいと思っている子が多くいると実感できた。</p>
教育長	<p>スクールミーティング等では、どうしても、学校は優秀な生徒を登場させ良いところを見せようとする傾向がある。実際は、全ての生徒が生き生きとした学校生活を過ごしている訳ではないので、問題行動調査等で不登校などが出てくる。スクールミーティングでは、教職員など多様なスタッフや、出来る限り多様な生徒たちとも会っていただくとう良いのではないか。</p>
野原委員	<p>週末に下呂で行われる教育モニター情報連絡会議へ参加する。先週は恵那特別支援学校へ訪問しモニターさんの意見を伺ってきたが、下呂でも意見を伺ってくるため、次回まとめて報告させてもらう。</p>
<b>閉会</b>	
15時40分、閉会を宣言する。	